



学科目	科目の主題	1.科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号														
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
基礎栄養学Ⅰ	栄養学の全体像を把握し、その本質や根拠をなす考え方を理解する	1. 栄養の概念と摂食の調節機構について理解している 2. 消化・吸収の機構と栄養素の体内動態について理解している 3. 糖質、脂質、たんぱく質の栄養機能について理解している		○							○						
基礎栄養学Ⅱ	栄養素摂取の過不足と健康の関わりを理解するとともに、遺伝子発現と栄養についての理解を深める	1. ビタミン、無機質、水・電解質の働きについて理解している 2. エネルギー代謝について理解している 3. 遺伝子発現と栄養の関わりについて理解している		○							○						
応用栄養学Ⅰ	妊娠期、授乳期、新生児・乳児期、成長期、成人期、高齢期の身体的特性、スポーツや環境変化における生理的適応と、適した栄養ケア・マネジメントについて理解する。	1. 栄養ケア・マネジメントの概要を理解している 2. 各ライフステージやスポーツ時、特殊環境下における生理的特徴・適応について説明ができる 3. 各ライフステージやスポーツ時、特殊環境下における栄養状態の評価や判定法、栄養ケアについて説明ができる		○							○						
応用栄養学Ⅱ	各ライフステージやスポーツ時、特殊環境下における適した栄養ケア・マネジメントに必要な知識・技術の活用について、理解を深める。	1. 各ライフステージやスポーツ時、特殊環境下における生理的特徴・適応について活用ができる 2. 各ライフステージやスポーツ時、特殊環境下における栄養状態の評価や判定法、栄養ケアについて活用ができる 3. 事例を用いて、栄養アセスメントと栄養ケア計画の立案ができる		○							○					○	
臨床栄養学Ⅰ	臨床栄養学の基礎を学ぶ	1. 傷病者を対象とした栄養マネジメントの概要を理解している 2. 適切な栄養アセスメントと栄養補給法を理解している 3. 疾患の病因と病態について理解している		○							○					○	
臨床栄養学Ⅱ	傷病者の病態や栄養状態の特徴について学ぶ	1. 疾患の病因と病態について理解している 2. 適切な栄養状態の評価、栄養補給法を理解している 3. 傷病者に必要な栄養管理の実施方法について理解している		○							○					○	
栄養学実験	実験を通して栄養素の消化・吸収および代謝機構についての理解を深める	1. 実験(定性および定量)に関わる種々の操作、レポートの作成ができる 2. 酵素に関わる実験を行うことができる 3. 栄養素の消化に関わる定量実験を行うことができる		○							○					○	
応用栄養学実習	ライフステージやスポーツ時に応じた栄養ケア・マネジメントに必要な知識・技術の活用について理解を深める	1. ライフステージ毎の特性や起こりやすい食生活上の課題と栄養との関係性について説明することができる 2. 事例を用いて、栄養アセスメントと栄養ケア計画の立案、評価ができる 3. 栄養ケア計画に応じた具体的な食事、および食生活に関する計画・調理・評価ができる		○							○						○
臨床栄養学実習	臨床栄養学に基づいた食事療法の実際を献立作成とともに修得する	1. 傷病者を対象とした栄養マネジメントができる 2. 生活習慣病の病因と病態を理解した献立作成ができる 3. 傷病者の栄養アセスメントの概要を理解した献立作成、調理、評価ができる		○							○						○
栄養教育論Ⅰ	栄養教育一連の流れの基本を学ぶ	1. 栄養教育の一連の流れ、マネジメントサイクルについて理解している 2. 的確な情報収集の方法と分析法を習得し、具体的なアセスメントの方法を理解している 3. 行動科学理論とカウンセリング理論を理解し、それらの栄養教育への応用の重要性を理解している		○							○					○	
栄養教育論Ⅱ	ライフスタイル・ステージにおける栄養教育の実際を学ぶ	1. ライフスタイル・ステージ別の栄養教育について理解している 2. ライフステージ・スタイルにあった適切な栄養指導ができる 3. 食環境づくりにおける栄養教育の役割を理解している		○							○					○	
公衆栄養学	個人または集団の健康維持増進及び疾病予防を目的として、人間栄養学の実践に必要な理論と方法を学ぶ	1. 公衆栄養アセスメントの目的と地域社会の実態把握のための情報収集法を理解している 2. 公衆栄養マネジメントの枠組み、公衆栄養プログラムの展開について理解している 3. 我が国および諸外国の健康問題や栄養政策について理解している		○							○					○	
栄養疫学	疫学の概念やその指標、疫学に関する基礎統計、管理栄養士に必要なスキルである食事調査方法を学ぶ	1. 疫学の概念やその指標、関連する基礎統計を理解している 2. 疫学の研究デザインの種類と特徴を理解している 3. スクリーニング検査の意義や目的、適用条件を理解している	○		○						○						
栄養教育論実習	栄養指導の実際を展開を学ぶ	1. 的確な栄養アセスメントから問題を抽出し、その構造分析から教育目標を設定できる 2. 認知行動療法のセルフガイダンス法の概念を理解している 3. カウンセリングの基本と、栄養カウンセラーの基本を理解している									○				○		○
公衆栄養学実習	食事調査方法の技術と公衆栄養マネジメントの組み立てを実習を通して学ぶ	1. 代表的な食事調査法について理解している 2. 既存資料を用いたデータをもとに地域の課題分析ができる 3. 公衆栄養マネジメントの枠組みが組み立てられる		○							○						○
調理学	調理を科学的に理解する	1. おいしさの評価や味の相互作用、調理による食品成分の変化を把握している 2. 調理器具と調理操作を理解している 3. 食事設計の基礎知識を学んでいる	○			○					○						
給食マネジメント論	給食システムを経営および各マネジメント論から理解する	1. 経営管理について、経営資源のヒト・モノ・カネのマネジメントを理解している 2. 給食管理について栄養食事管理、食材料管理、衛生・安全管理、生産管理を理解している 3. 給食システム全体を、給食の品質と喫食者満足から理解している		○							○					○	
調理実習基礎	調理技術の基礎と食品成分表の活用を学ぶ	1. 調理器具の使用方法和基本的調理操作を習得している 2. 様式別の基本的な調理を習得している 3. 食品成分表を活用できる									○					○	
調理実習応用	調理技術の応用能力を養う	1. 複雑な調理技術を習得している 2. 新たに市場に出回っている食材の扱い方を把握している 3. 簡単な加工食品を作ることができる									○					○	○
食生活と調理実習	多様な食生活に応じた調理をする	1. 多様な食文化を学び、行事食や郷土料理・様々な国の調理ができる 2. ライフステージに応じた食事を学んで調理できる 3. 食事計画に基づき献立作成と調理指導ができる	○	○												○	
給食マネジメント実習Ⅰ	給食業務におけるマネジメントの大切さを実習により学習する	1. グループ討議を通して発言する力、聞く力、まとめ上げる力を獲得している 2. 大量調理及び販売経験を通して顧客満足を得ることの難しさや大切さを学びことができる 3. グループでの課題発見・検討・解決過程で、マネジメントの効力や必要性を理解している														○	○
給食マネジメント実習Ⅱ	給食システムの実践学習	1. 給食の各管理論について実践的に理解している 2. 喫食者に対するサービスや給食の役割について理解している 3. 給食をシステムとして総合的に理解し、実践できる力を養う														○	○
臨地実習	栄養士・管理栄養士が活躍する給食施設での実習を通して給食運営の実務を体得する	1. 校外実習を通して、給食の計画、実務、運営の実際について理解している 2. 給食実務の実際について理解し、実践的に体得している 3. 給食実務を通して課題を発見し、問題解決のための方策を考えることができる														○	○
生涯スポーツ論	生涯学習の中での運動やスポーツの役割について学ぶ	1. 生涯スポーツの概念について理解している 2. 生涯スポーツの背景について理解している 3. 生涯スポーツを支えるシステムについて理解している														○	
スポーツ産業論	スポーツ産業の仕組みと社会における役割について理解する	1. 様々なスポーツ産業の形態について理解している 2. スポーツに関するビジネスの基本的な仕組みについて理解している 3. 社会におけるスポーツ産業の役割について理解している	○								○						○
健康づくりと運動	心身の健康の維持・増進に役立つ運動やスポーツ活動の条件を理解する	1. トレーニングの原則について理解している 2. 運動処方の基本について理解している 3. 対象者の状況に応じた運動処方を提案できる									○					○	
安全管理と救急処置	運動やスポーツを安全に実施するための知識、運動障害の予防と救急処置について学ぶ	1. メディカルチェックや運動・スポーツ時の安全管理について理解している 2. スポーツ障害を予防するための方法を理解している 3. スポーツ障害に対する応急処置や対処法を理解し、実践できる														○	
スポーツ心理学	スポーツに関わる人々の心理について理解する	1. スポーツに関わる人の心理について理解している 2. スポーツに関わるメンタルトレーニングについて理解している 3. スポーツを愛好する心を育てることができる	○	○													

学科目	科目の主題	1.科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号															
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで															
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15	
スポーツ社会学	社会におけるスポーツの役割について理解する	1. スポーツの役割について理解している 2. スポーツの必要性について理解している 3. 社会におけるスポーツの立場を理解している	○	○														
アダプテッドスポーツ論	障がい者のスポーツ活動のより良い支援が行える力を身につける	1. 障がい者スポーツやアダプテッドスポーツの基本的概念を理解している 2. 公認バラスポーツ指導員の意義や公認バラスポーツ指導員の役割を理解している 3. 障がい者について理解し、その人に応じたスポーツ活動の支援を行える		○								○						
体育・スポーツ原理	体育・スポーツの問題を多様な観点から考えられる力を身につける	1. 体育・スポーツの歴史的展開および存在意義について理解している 2. 体育・スポーツで論じられている現代的なトピックを理解している 3. 体育・スポーツにおける指導者の役割を理解している	○	○														
学校保健	学校における保健の目的・内容など、学校保健活動に必要な基礎的知識を身につける	1. 学校における保健の目的を理解している 2. 学校保健活動の実際を理解している 3. 児童生徒の健康問題とその対応を理解している		○														
コーチング論	コーチングの基本的な考え方とスキルを身につけ、セルフコントロールや健康運動指導に生かせるようにする	1. 健康を維持・増進するための運動(スポーツ)の役割・指導技術を身につけている 2. 指導者として対象者とのコミュニケーションを円滑に進める能力を身につけている 3. 運動(スポーツ)指導を通して、健康づくりで地域社会に貢献できる力を身につけている		○											○	○		○
スポーツマネジメント論	スポーツが関わっているビジネスについて学ぶ	1. スポーツマネジメントの基礎的知識について理解している 2. マネジメントの代表的な理論について理解している 3. 実際のスポーツ場面におけるマネジメントについて理解している		○													○	
健康スポーツ指導法Ⅰ	健康づくりのための運動の基礎と指導法を習得する	1. 健康づくりのための運動指導に必要な能力について理解している 2. ウォームアップ・クールダウンについて理解し、その方法を身につけている 3. ウォーキング・ジョギングの特性や効果について理解した指導ができる		○														○
健康スポーツ指導法Ⅱ	エアロビックダンスや自体重を用いたレジスタンス運動の動作の基本と応用、指導技術の習得を目指す	1. エアロビックダンスの特性を理解し、動作の基本を身につけている 2. エアロビックダンスの基本的な動作を指導できる 3. 自体重を用いたレジスタンス運動を指導できる		○														○
健康スポーツ指導法Ⅲ(体づくり運動・器械運動)	体づくり運動や器械運動の基礎的技術や指導法を身につける	1. 自らからだを動かして、体づくり運動について理解している 2. 器械運動の各種目の技術的ポイントを理解し、実際に示範できる 3. 器械運動の各種目の特性について説明し、安全に配慮した指導ができる		○														○
健康スポーツ指導法Ⅳ(水泳・水中運動)	水泳・水中運動の各種目の基礎的技術や指導法について実践を通して習得する	1. 各種目を指導する上での技術的要点を理解して示範できる 2. 各種目を安全に配慮して指導できる 3. 年齢や体力、目的に応じたプログラムを作成して実施できる		○														○
健康スポーツ指導法Ⅴ(ダンス)	ダンスの表現技法を学び、専門的な技術と知識を身につけ、ダンスの指導ができるようになる	1. ダンスの実践経験を踏まえ、ダンスに対する認識を深めている 2. ダンスの個性的な表現や作品の創作ができる 3. ダンス指導に必要な知識と経験を身につけている		○														
健康スポーツ指導法Ⅵ(陸上競技)	陸上競技の各種目の基礎的技術、指導法、審判法について、実践を通して身につける	1. 陸上競技の各種目の技術的ポイントを理解している 2. 陸上競技の各種目を実際に示範できる 3. 安全に配慮してそれぞれの種目を実施できる				○									○			○
健康スポーツ指導法Ⅶ(ゴール型・ベースボール型球技)	ゴール型球技とベースボール型球技の技術や指導法の基礎的事項について実践を通して習得する	1. ゴール型およびベースボール型球技の特性を理解している 2. 各種目の技術や戦術の要点を理解して示範することができる 3. 安全に配慮して各種目の指導ができる		○														○
健康スポーツ指導法Ⅷ(ネット型球技)	ネット型スポーツの競技特性とルールを理解し、ゲームができる個人技能や作戦を組み立ててゲームを行える知識を身につける	1. ネット型スポーツの特徴とルールを理解し、基礎的知識を身につけている 2. チームやダブルスで作戦を立ててゲームを行うことができる 3. ルールやチームワークを理解し、全員で楽しむことができる	○												○	○		
健康スポーツ指導法ⅧA(柔道)	柔道の運動特性を理解し、技術や指導法の基本を身につける	1. 柔道の伝統的な行動の仕方や精神を理解している 2. 柔道の基本的な技術を身につけている 3. 柔道の審判法や適切な指導方法を身につけている		○														
健康スポーツ指導法ⅧB(野外活動)	野外活動(ウォータースポーツ)の技術と知識を身につける	1. ウォータースポーツの特徴について理解している 2. 各種目の技術的ポイントを理解して示範できる 3. 各種目の特性を理解し、安全に配慮した指導ができる		○														○
インストラクター現場実習	運動指導者としての在り方を学び、対象者に応じた効果的な指導ができる力を身につける	1. 運動指導者の役割や心得を理解している 2. 運動指導現場の課題を理解している 3. 指導対象者に応じた運動の仕方を提案し、適切に指導できる		○	○													○
スポーツ栄養学	アスリートの栄養管理について理解する	1. 運動時のエネルギー・栄養素の代謝について理解している 2. アスリートの体重管理・身体組成の調整について理解している 3. 競技別の栄養管理について理解している		○														○
スポーツ栄養学実習	スポーツマンの栄養指導を実践する	1. スポーツ栄養の基礎知識について理解している 2. スポーツと栄養との関わりについて理解している 3. スポーツ選手の食事アドバイスが実践できる		○							○							○
スポーツ医学実習	メディカルチェック、健康診断結果の捉え方を学び、生活習慣病対策や競技力向上に有効な運動プログラムを実践する	1. 運動・スポーツが身体機能に与える影響を理解している 2. メディカルチェックについて理解している 3. 生活習慣病対策や競技力向上のための運動プログラムについて理解している		○	○						○							○
食品開発論	食品開発における基礎知識やプロセスの概略を学ぶ	1. 食品の機能性や品質管理について理解している 2. マーケティング活動について理解している 3. 商品開発のプロセスについて概略を理解している		○								○						○
京都の食文化	京都を題材として、食文化について学ぶ	1. 食文化論の学術的な意義について理解している 2. 京都に伝わる食習慣や加工食品に関する情報・知識を自らの活動に生かすことができる 3. 京都を事例として地域の特性が食に与える影響について探究することができる	○			○							○					○
食文化研修	海外研修を通して、グローバルな視点を身につける	1. 多様な国の食文化について理解している 2. 日本の伝統文化を理解し、他者・他文化との交流に生かすことができる 3. 多様性を尊重し、ニュートラルな思考を身につけている	○	○									○					○
フードシステム論	社会フードシステムについて学ぶ	1. フードシステムの概要について理解している 2. 消費者の食物選択において生じる様々な課題について積極的に取り組むことができる 3. グローバリゼーションによって引き起こされる課題(SDGs含む)について理解している	○	○														○
食マーケティング論	食品の消費と流通について理解する	1. 食生活の変遷について理解している 2. フードマーケティングと食品流通について理解している 3. 食品市場と食品流通、食品消費について理解している	○	○														
食品開発演習	食品加工の原理・技術を学ぶ	1. 食品事業の基本原則(安全、信頼対策、標準化)を説明することができる 2. 加工食品の製造原理を理解し、加工方法・保存・包装に関する技術を修得している 3. 食品産業や健康課題に着目した加工食品の提案について検討できる		○	○													○
健康プロジェクトⅠ	さまざまな健康に関するプロジェクトの計画・実施に必要な知識および理論を学ぶ	1. プロジェクトの計画・準備・実施に際し、必要な知識および理論を理解している 2. 情報を収集し、分析し、プロジェクトデザインを立案できる 3. 企画立案したプロジェクトを適切にプレゼンテーションすることができる	○															○
健康プロジェクトⅡ	健康に関するプロジェクトの計画・準備を通して、PDCAサイクルを実践する	1. 情報を収集し、分析し、身近な課題に気づくことができる 2. 課題を解決するためのプロジェクトデザインを立案できる 3. 臨機応変に計画を実施し、その評価を行い、改善の提案ができる																○

学科目	科目の主題	1.科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号														
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
健康総合演習A	栄養士としての専門的知識をさらに深める	1. 基礎的知識を再確認することで知識を定着させることができる 2. 専門的知識を再確認することで知識を定着させることができる 3. 各分野の演習を通して応用力を身につけている		○												○	
健康総合演習B	健康づくりを支える運動・スポーツ指導者としての専門的知識を深め、指導実践力を高める	1. 運動・スポーツ指導者に求められる専門的知識を習得している 2. 対象者に応じた運動・スポーツ指導を行うことができる 3. 対象者に対して適切なコミュニケーションを図ることができる		○	○										○	○	
卒業研究	研究方法の基本を学ぶ	1. 課題発見からテーマ設定、データの取得および分析、考察までの研究の一連の流れを理解している 2. 研究成果を論文としてまとめることができる 3. 研究成果について、口頭発表・質疑応答ができる		○	○					○						○	
専門職の連携(応用)	他職種との連携協働の実践を学習する専門職連携に関する発展的な科目であり、実践力のある専門職として就職するための総合的な学習を行う	1. 他職種間での専門的かつ高次のコミュニケーションを図れるようになる 2. 実例を取り上げることで、より具体的で実践的な援助方法を理解する 3. 専門職としての自己意識を高め、資格取得に向けての意欲向上を目指す			○						○		○		○		
包括的ヘルスケア論	包括的な視点で地域・在宅で生活している人々に対する保健・医療・福祉の施策の動向を学ぶ	1. 我が国の少子高齢化に伴う問題を理解する 2. 障害児・者・高齢者の地域における生活を支援するための諸制度や自立支援、就労支援、地域包括ケアシステムについての知識を修得する 3. 多職種連携による支援の技術を学ぶ	○	○							○	○					
フードコーディネーター論	日常生活からフードビジネスに至るフードコーディネーターの全体像を学ぶ	1. テーブルウェアの知識とテーブルセッティングの方法を習得している 2. フードマネジメントの概念を理解している 3. 食環境とフードシステムについて理解している		○													
食品の評価・鑑別	食品の評価・鑑別方法を理解する	1. 食品の評価方法の考え方を身につけている 2. 食品の評価方法を適切に活用し、評価が出来る 3. 食に関する種々の情報に対して公正な評価・判断を行うことができる		○	○											○	
フードスペシャリスト論	フードスペシャリストの意義と要求される専門知識を理解する	1. フードスペシャリスト資格の意義について理解している 2. 資格に必要な知識や技能の概要を理解している 3. フードスペシャリストの役割について考えることができる			○									○			
製菓実習	製菓、デザートづくりの基本的知識や技術を学ぶ	1. 洋菓子の歴史や分類、作り方などを理解している 2. 菓子、デザート作りの基本的な技術を修得している 3. 菓子、デザートのメニューを考えることができる	○					○									
消費者心理学	消費者行動の理論とそのマーケティングへの応用について学ぶ	1. 消費者行動と購買意思決定過程モデルについて理解する 2. 消費者の満足・不満足について、購買意思決定過程モデルから検討することができる 3. 社会的文化的状況下において集団と個人から影響をうける消費者行動について理解する		○	○												
経営法務	経営・ビジネスに関わる法規・法律について、経済活動やビジネスの視点からのケーススタディ等を通じて幅広く考察する	1. 経営・ビジネスに関連する法律の体系および概要について理解できる 2. 法律的に物事を捉え、考える態度を身につけることができる 3. コンプライアンス・法令遵守という考え方を体感的に理解できる			○									○	○		
心理学的支援法	様々な心理学的支援の方法について理解する。	1. 代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応と限界、訪問支援や地域支援の意義、関係者支援について理解する 2. プライバシーへの配慮とともに、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法を理解する 3. 心の健康教育について理解する	○											○		○	
メンタルヘルス論	職場におけるメンタルヘルスに関する基礎知識を習得し、心の病理に対する偏見を払拭し理解を深める	1. ストレスとストレス対処に関する理論を理解できる 2. 職場不適応と復職支援についての知識を習得する 3. 様々な心の病について、その病のメカニズム、心の病にある人の苦しみ、および予防策について理解できる	○	○										○		○	
食の心理と健康	食に関わる諸問題について、心理学および健康栄養学の視点から理解する	1. 食に関わる心理について理解する。 2. 食と健康の関連について理解する。 3. 現代における食の問題について、心身の両面から理解を深める。			○											○	
スポーツと健康のデータサイエンス	身近な例から学ぶスポーツ・健康データの分析と活用	1. スポーツや健康に関する基本的なデータの種類と特徴について理解を深める。 2. ExcelやSPSSを用いて簡単なデータ分析ができる。 3. データに基づいてスポーツや健康の状況について考察することができる。	○						○	○							
栄養教諭のための理論と実践	栄養教諭の役割及び職務内容について学ぶ	1. 幼児、児童及び生徒の栄養に係わる課題について理解している 2. 学校教育の管理運営を理解している 3. 食に関する指導の方法について理解している			○	○								○		○	
保健体育科指導法Ⅰ	高等学校における保健体育科の意義や目標を理解し、保健体育科に関する基礎的知識を身につける	1. 高等学校保健体育科の意義や目標を理解している 2. 高等学校保健体育科の具体的な内容について理解している 3. 高等学校保健体育科教員の役割を理解している			○												
保健体育科指導法Ⅱ	保健体育科の授業づくり求められる基礎的知識や指導方法について理解する	1. 保健体育科の授業の各領域の指導の理論や方法を理解している 2. 学習指導計画の作成の基本について理解している 3. マイクロティーチングで小グループへの指導ができる			○									○			
保健体育科指導法Ⅲ	保健体育科の授業を効果的に展開するために求められる専門的知識と指導技能を身につける	1. 保健体育科の授業の各領域の指導の理論や方法を深く理解している 2. 保健体育科の授業の各領域の基本的な指導ができる 3. 保健体育科の授業の各領域を工夫して展開できる			○									○			
保健体育科指導法Ⅳ	中学校における保健体育科の意義や目標を理解し、効果的な授業展開できる専門的知識や指導技能を身につける	1. 中学校保健体育科の意義や目標を理解している 2. 中学校保健体育科の具体的な内容について理解している 3. 中学校保健体育科の授業の各領域を工夫して展開できる			○									○			
教職論	教職の専門性と教師の魅力について学ぶ	1. 教職という仕事を多面的に理解している 2. 専門職的な能力を築きつつ、児童・生徒たちの学びをデザインできる実践的スキルを備えている 3. 教職の専門性に裏打ちされて、総合的に展開できる実践的指導力を備えている	○		○												
教育原理	教育の理論と実践の関係を把握する	1. 教育の本質と社会的役割について理解している 2. 教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、現代社会における多様な教育課題について、歴史的背景も踏まえて自らの見解を述べる事ができる 3. 学校、家庭、社会における教育に関する様々な思想を理解し、将来の教育のあり方について構想することができる			○	○						○				○	
教育心理学	幼児、児童及び生徒の心身の発達・学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	1. 教育心理学で得られた様々な知見を概観し、相互の理解を深めている 2. 教育心理学的に授業評価ができる 3. その授業評価に基づき、授業計画・授業内容・授業方法について改善策を提案できる		○	○												
教育行政学	「教育の条件整備」のための教育法規・教育行政・教育政策	1. 教育に関する社会的、制度的または経営的事項を理解し習得している 2. 教育制度、教育政策、学校経営に関する理解を深めている 3. 教育に関するさまざまな問題について深く考えることができる		○													
人権教育	人権尊重のための知識や態度及び実践力を養う	1. さまざまな人権問題に関する知識を身につけている 2. 人権に関する基本的な考え方を知っている 3. 人権を自らの問題として認識し、考えることができる		○								○		○			
特別支援教育	中学校・高等学校の教諭・養護教諭・栄養教諭等の教員免許取得を目指す学生として、特別支援教育の意義、制度の仕組みおよび生徒の理解と支援の方途の概要を身につける	1. 特別支援教育の理念や目標を理解する 2. 具体的な支援・指導の在り方を検討する 3. 教育支援計画、個別の支援計画、組織的な連携の在り方について理解する		○											○		
教育課程論	教育課程の編成に関する基礎的な理念・原理の理解	1. 教育課程の基本理念や実践に即した教育課程編成の方法を理解している 2. 学習指導要領改訂の流れとその時々求められた資質・能力の変遷を理解し、学校教育と社会のつながりを教育課程の観点から見通すことができる。 3. 中等教育におけるカリキュラム・マネジメントについて、その意義を自らの言葉で説明することができる		○					○								
道徳教育の理論と指導法	道徳教育の歴史・理論および「特別の教科 道徳」の意義と指導法	1. 日本と西欧における道徳教育の歴史を習得している 2. 学校教育における道徳教育の目標と内容を統一的理解している 3. 実践的に解決しがたい問題にも、解決方法を模索し創意する志向性を有している		○								○		○		○	

学科目	科目の主題	1.科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号															
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで															
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15	
特別活動及び総合的な学習の時間	「特別活動」および「総合的な学習(探究)の時間」の意義と指導法を学ぶ。	1.特別活動及び総合的な学習(探究)の時間の意義と、今日求められている課題を認識している	○		○													
		2.特別活動及び総合的な学習(探究)の時間の指導案を作成し、それに基づいて模擬授業を行うことができる				○												
		3.模擬授業を行う経験を通して、授業の場での具体的かつ実践的な教育方法を修得している							○									
教育方法論(ICT活用を含む)	教育方法及び教育現場における情報通信技術の活用について理解する	1.教育方法に関する理論に基づき、授業研究を行うことができる	○					○										
		2.教育方法に関する理論に基づき、教材研究を行うことができる	○					○	○									
		3.学習教材を計画・開発・評価するプロジェクトに取り組むことができる						○										
生徒指導及び進路指導	生徒指導の理論及び方法/進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	1.個性を持つ生徒一人ひとりを理解できるための基礎的な知識を習得している	○									○						
		2.教師の専門職性をふまえながら生徒に対する理解および援助の方法について考えることができる											○		○			
		3.進路指導の理論と方法を知り、キャリア教育の実践について提案できる															○	
教育相談	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論および方法を理解する	1.教育相談における技法を知っている	○											○				
		2.教育相談への理解を深めている												○				
		3.学校で教員となった場合のように生徒・保護者と関わっていくかについて各自が積極的に考えることができる													○			
教職実践演習(栄養教諭)	栄養教諭として求められる資質能力、知識や技能をさらに伸長し、次世代の教職を担う人材として十分な能力を身につける	1.栄養教諭の職務・役割・使命を深く理解し、専門性を活かした指導ができる		○	○													
		2.栄養教諭としての職責や義務の自覚に基づき、他の教職員や地域・家庭との連携・協力のあり方を修得している														○	○	
		3.求められる教員像を明確化すると同時に、教育に対する使命感や情熱を有している													○	○	○	
教職実践演習(中・高)	教員として求められる資質能力、知識や技能をさらに伸長し、次世代の教職を担う人材として十分な能力を身につける	1.教職の意義や教員の役割、職務内容について深く理解している		○														
		2.学校を取り巻く諸問題について教員として適切な対応ができる			○													
		3.効果的に教科指導するための工夫ができる		○					○									
事前・事後指導	教育実習の事前指導と事後指導	1.教育実習の意義と心構えについて基本的に理解している	○															
		2.教科指導の方法・技術について基礎的に習得している		○														
		3.生徒指導・特別活動・道徳指導について実践的に修得している	○															
栄養教育実習	学校現場における実習を通じ、栄養教諭の職務・使命・役割を体得する	1.学校現場における栄養教諭の職務・使命・役割を理解している		○										○		○		
		2.栄養教諭としての食に関する指導の実際を体得している		○											○		○	
		3.学校現場における実習を通じ、求められる教員像を明確化できる													○	○	○	
教育実習(中・高) I	高等学校での教育実践によって、教職の意義、教員の役割と職務を再認識し、教員としての資質能力を高める	1.学校現場で教育実践できる		○														
		2.教職の意義、教員の役割と職務について理解している	○															
		3.教育実践の体験に基づき、自らの教職への適性や進路について考えることができる													○	○		
教育実習(中・高) II	中学校での教育実践によって教育現場の課題を認識し、自らが教員としてどのように解決に取り組むかを考える	1.中学校での教育実践を通して、現場での課題を理解している			○													
		2.教科指導や生徒指導、学級経営に関わる実践的能力を身につけている	○															
		3.自らの教員としての資質能力を省みることができる															○	